

新聞を身近なものに～新聞に親しみ、思考を深め、進んで表現する児童の育成～

門川町立草川小学校

教諭 三尾さち

1 はじめに

本校は昨年度より NIE 実践校となった。昨年度は、特定の学級及び教科に考慮した NIE 活動を行い、一定の成果をのこすことができた。

本年度は、職員間への共通理解を図り、NIE 活動の重要性を十分に認識させ、昨年度の取組をさらに全校的な取組へと広げ、内容を充実・深化させることにより、NIE 教育が児童に浸透できるように考えて活動を行った。

2 主題設定の理由

主題は、「新聞を身近なものに～新聞に親しみ、思考を深め、進んで表現する児童の育成～」と設定した。

本校は明るく元気で運動を好む児童が多い。スポーツ少年団の活動も盛んである。しかし、コミュニケーション能力に課題がある児童、規範意識が低い児童も見られる。また、新聞を購読している家庭がそれほど多くない。情報はテレビ、スマートフォンやタブレット、PC から得る児童が多く、新聞が身近にある環境ではないため、児童の話題にも新聞のことがあまり見られない。

そこで、本年度は、昨年度よりも一層新聞が児童にとって身近なものとなることを目指して、

- ・ 職員が研修をして NIE について理解を深める
- ・ 児童の生活の中に新聞を存在させる工夫をする
- ・ 学校生活全般で新聞を活用する

ということに取り組むことにした。この実践を通して、新聞に親しみ、自分の思考を深め、進んで表現する児童を育成したいと考え、本主題を設定した。

3 実践内容

(1) NIE に関する職員研修を行う

高千穂町立高千穂小学校の田崎香織先生を講師にお迎えして「いつでもどこでも NIE！」というテーマで職員研修を行った。この研修では、

- ・ 基礎的・汎用的能力を培う NIE
- ・ 授業の実際
- ・ 環境作り
- ・ 児童の変容

等の話を聞き、実際に新聞を使った授業を職員も体験して、NIE について教師自身が興味関心を深める研修となった。

(2) 児童の生活の中に「新聞」を存在させる。

① 新聞を掲示する

○ 児童玄関

- ・ その日の新聞記事の注目記事をコピーして児童玄関に毎朝掲示する。
- ・ 「宮日子ども新聞」を掲示する。

○ 校長室前掲示板

- ・ 新聞に掲載された児童作品を掲示する。



児童玄関で新聞を読む児童



校長室前掲示板

- 3年生教室
 - ・ 教室の入り口に「宮日子ども新聞」を掲示する。

② 新聞コーナーを作る。

- 3年生新聞コーナー
 - ・ 教室後方のロッカーの上に新聞を置いて「新聞コーナー」とした。児童が休み時間等にいつでも新聞を手にする事ができた。
- 4年生・5年生・6年生新聞コーナー
 - ・ オープンスペースの一角に「新聞コーナー」を設けた。新聞を置いて児童がいつでも新聞を読めるようにし、低いテーブルを置いて、児童がリラックスした気持ちで新聞を読めるような工夫も行った。



3年生新聞コーナー



4年生新聞コーナー

(3) 学校生活全般で新聞を活用する

① 興味のある記事を集める活動

- 4年生
 - ・ 新聞を読んで自分が興味をもった記事を切り抜き、「スポーツ新聞」「将棋新聞」等のタイトルをつけて新聞コーナーに掲示する活動を行った。掲示することにより、児童同士で「この記事、おもしろいね。」「まとめ方が上手いね。」等の会話が生まれ、新聞を読む意欲に繋がった。



5年生新聞コーナー

② 興味のある記事を選び、自分の考えを書く活動

- 5年生
 - ・ 「みんな見て！見て！今日のイチ押し新聞記事」というコーナーを学年掲示板に設置した。児童が交代で、自分が気になった新聞記事の切り抜きとその記事に関するコメントを掲示するコーナーで、新聞に興味をもつとともに児童が自分の考えを表現する場となった。



4年生：興味をもった記事を切り抜く。

③ 新聞を音読したり、視写したりする活動

- 6年生
 - ・ 宮崎日日新聞「若い目」を活用して、音読、視写、感想をまとめる等の活動に取り組んだ。より良い文章にふれたり、自分の考えを表現したりする時間をもつことができた。



5年生：「みんな見て！見て！今日のイチ押し新聞記事」

④ 新聞を活用した授業

- 3年生 道徳との関連
 - ・ 道徳の学習で「あなたはどんな時に命は大切だと感じますか」という問いがあったが、児童にとって難しい問いで、あまり意見が出なかった。そこで、後日、子ども新聞の臓器移植に関する記事を配付して、「記事を読んで意見や感想を出し合おう」という活動をした。臓器提供を待つ立場、臓器提供を行う立場、その人や家族の気持ちなどを新聞から読み取り、命の大切さについて様々な意見交換がで



きた。

○ 4年生

- 総合的な学習の時間「新聞の作り方を知ろう」

宮崎日日新聞社の湯田光さんを講師に迎えて、新聞の作り方について学んだ。

- 学級活動「新聞の言葉をつなげて文章を作ろう」

記事の中にある言葉をつなぎ合わせて文章を作る活動を行った。友達と言葉をさがし、試行錯誤しつつ楽しく文章を作っていた。

文章を作る際には、言葉に興味をもって取り組むことができていた。最後に各班で発表をし、作品を紹介しあう活動を入れた。

- 社会科「住みよい郷土宮崎県」

「白地図にある写真と新聞記事から宮崎県の各地の様子を知り、宮崎の魅力に関心を持ち、学習問題を設定することができる」という目標で下記のような流れで学習を行った。

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	評価規準	資料準備
つかむ 5分	1 前時の学習を振り返る。	○ 宮崎に観光客が増えた予想について振り返り、宮崎には魅力があるということに視点を向けさせる。 ○ 新聞と写真から宮崎の魅力について調べることとこれからの学習問題を考えることの2つの点を押さえる。		グラフ
	2 学習のめあてを立てる。 宮崎のみ力を調べ、学習問題を考えよう。			
見通す 3分	3 課題解決の見通しをもつ。 <授業の流れ> ・記事の見出しや写真などに注目しながら宮崎について調べる。 ・宮崎の魅力について考える。	○ 授業の流れを確認し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。		拡大白地図
解決する 31	4 課題を解決する。 (1) グループで解決する。 ○ どの記事の内容が白地図の写真のことを表しているか調べる。 ・五ヶ瀬スキー(観光) ・カツオー一本釣り(産業) ・神楽(神話・伝説)等 (2) 全体で考える。 ○ 記事が写真のどの記	○ 記事の難しい漢字にはルビをつけ、児童が読みやすいようにしておく。 ○ 記事を読むとき、写真や見出しに注目させ、大切な言葉に注目して読ませる。 ○ 早く終わったグループは、興味のある記事についてそれぞれ読ませる。 ○ 確認する際には、子どもたちの知っていることや関連	宮崎の魅力につ	拡大白地図 新聞記事

分	<p>事にあたるか確認をする。</p> <p>○ 調べた記事から宮崎の魅力について考える。</p>	<p>することなど宮崎の魅力について聞いていく。</p> <p>○ 調べた見出しのキーワードから宮崎はどんな魅力がありそうかを考えさせる。</p>	<p>いていて調べ、話し合い、学習問題を見いだそうとしている。 (発言・作業)</p>	
まとめ	<p>5 学習問題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>宮崎県のみ力について調べ、県外のひとにアピールする新聞を作ろう。</p> </div> <p>○ 調べること ・土地・交通・産業</p>	<p>○ 次時以降の学習をもとに、宮崎をアピールする新聞を作ることを学習問題として設定し、学習意欲をもたせる。</p> <p>○ 魅力を調べていく際の視点を3つにしぼる。</p>		
4分				
振り返る	<p>6 振り返る。</p>	<p>○ どのようなことを自分が今後調べてみたいかについて、感想を書かせる。</p>		

4 成果と課題

(1) 成果～児童の変容～

- アンケートの結果、約80%の児童(4・5・6年生)が、「今までよりも新聞を読むようになった」と答えていた。また、新聞に関する児童の感想として次のようなものがあった。
 - ・ 授業で見た臓器移植の新聞記事を自分の部屋にはっています。とても心に残ったからです。
(3年生 女子)
 - ・ 毎日、児童玄関にはってある新聞や、オープンスペースにある新聞を見えています。新聞に書いてあることを見るのはおもしろいです。衆議院選挙の時も結果がどうなるのか興味をもって見ていました。
(4年生 男子)
- 新聞との関わり方に変化が見られた。児童にとって、新聞は「新聞コーナーの置いてあるだけ」のものだった。それが、教師に言われて新聞を読むようになり、次第に自分から進んで読み、友達と読み合うようになった。日常の会話の中で、新聞記事についての話題が出るようになった。児童にとって、新聞が身近なものになってきたと言える。

(2) 課題～「これから」のこと～

- 4・5・6年に2社ずつ新聞を配ることが出来るのは12月までだった。新聞が身近なものになってきた今の状況を大事にしたいと考え、1月からも従来学校が購入していた1社の新聞を4・5・6年生にも学年一部ずつ配付することにした。より一層新聞に親しませたい。
- 新聞を通してのコミュニケーション力の向上を図りたい。記事をもとにした意見交換、多様なものの見方や考え方に触れる活動を増やしたい。
- 新聞を通して規範意識の向上も図りたい。ルールやマナーを守る大切さを記事をもとにして学ぶ機会を設けたい。
- NIEへの取組と学力向上の関連性を確かめていく必要がある。現在の取組を継続して行う、家庭学習にも活かす、各種テストをもとにした分析等を行うことも検討している。